

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	学校図書館の活性化推進総合事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	初等中等教育局	担当課室	児童生徒課	児童生徒課長 磯谷 桂介		
会計区分	一般会計	上位政策	確かな学力の育成			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	言語活動の充実を図ることとした新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、その適切な実施を進めるため、授業における学校図書館の活用を拡大していくこと、また、言語活動等以外の活動も含め、各教科等の授業を改善し、充実させる上で、学校図書館が教員サポート機能を発揮していくことを推進する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	メニュー1: 学び方を学ぶ場としての学校図書館機能強化プロジェクト 学校図書館を有効に活用して行う、「調べ学習」の取組や、各教科における言語活動等の取組など、児童生徒を学びへ導く効果的な学校図書館活動の方策について実践的な調査研究を行う。 メニュー2: 教員のサポート機能強化に向けた学校図書館活性化プロジェクト 学校における教育課程の展開に資するため、学校図書館による教員サポート機能の向上を図る効果的な取組について実践的な調査研究を行う。					
実施状況	自治体、国立大学法人等 36機関					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	0	134	0	—
	執行額	0	0	103		
	執行率	0	0	77%		
	総事業費(執行ベース)	0	0	103		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	各自治体等より提出された事業計画書及び事業完了報告書により審査を行い、支出先・用途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 また、領収書を取り寄せる等、各費目についての詳細把握を行っている。				
	見直しの 余地	21年度限りで廃止。 なお、22年度からは、確かな学力の育成にかかる実践的調査研究のメニューとして、学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究を実施していく。				
予算監 視の・ 効率化	この事業については、予算の重点化・効率化を図る観点から、平成22年度予算においては、発展的に他の事業に転換している。					
補 記						

文部科学省
103百万円

本省執行 1百万円
諸謝金 0.1百万円
教職員研修費 1百万円

学び方を学ぶ場としての学校図書館機能強化プロジェクト・教員のサポート機能強化に向けた学校図書館活性化プロジェクトの実施

【企画競争・委託】

A. 自治体、大学全36機関
102百万円

学び方を学ぶ場としての学校図書館機能強化プロジェクト・教員のサポート機能強化に向けた学校図書館活性化プロジェクトの実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.雲南市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
図書購入費	学校図書購入	2.3			
消耗品費	ファイル、コピー用紙等	1.9			
諸謝金	講師謝金・図書館支援スタッフ謝金	1.5			
印刷製本費	事業報告書印刷等	0.4			
旅費	講師等旅費	0.2			
計		6.3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

事業名:A. 学校図書館活性化総合推進事業

	支出先	支出額(百万円)
1	雲南市	6.3
2	羽曳野市	4.9
3	東出雲町	3.4
4	伊丹市	3.4
5	柏市	3.4
6	桜川市	3.4
7	市川市	3.4
8	山陽小野田市	3.3
9	秋田県	3.3
10	村山市	3.2
・ ・ ・	その他	64.0
合計		102